

# 第6章 環境・自然

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績 (H30)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
環境政策課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	再生可能エネルギーを利用した電力利用を推進し、地域の温室効果ガス排出量を削減するとともに、自然に寄り添う持続可能な地域社会の実現に寄与することを目的に、(株)とことざわ未来電力を平成30年5月28日に設立し、10月から順次23の公共施設に電力供給を開始した。「再生可能エネルギー電源導入等調査」は、市内事業者等を対象に、新たな再生可能エネルギー開発の意向や地域等の既存太陽光発電設備の供給能力等について調査し、地域への再生可能エネルギーのための基礎データとするもの。	再生可能エネルギーを利用した電力利用を推進し、地域の温室効果ガス排出量を削減するとともに、自然に寄り添う持続可能な地域社会の実現に寄与することを目的に、(株)とことざわ未来電力を平成30年5月28日に設立し、10月から順次23の公共施設に電力供給を開始した。「再生可能エネルギー電源導入等調査」は、市内事業者等を対象に、新たな再生可能エネルギー開発の意向や地域等の既存太陽光発電設備の供給能力等について調査し、地域への再生可能エネルギーのための基礎データとするもの。	H30年度に改善した点	有	無	
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	0千円	0千円	①(株)とことざわ未来電力の設立 ②「再生可能エネルギー導入等調査」 (1)地域における新規再生可能エネルギー開発に係る調査 (2)市内及び県内の既存再生可能エネルギーからの供給能力に係る調査	(株)とことざわ未来電力からの電力供給施設数(累計公共施設数)	当該事業は、地域における再生可能エネルギーの普及推進を目的としていることから、(株)とことざわ未来電力からの電力供給施設数(公共施設)を指標とする。								
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析								
	特になし	10,100千円	10,004千円	①平成30年5月28日設立 ②(1)アンケート355者、ヒアリング12者、事業化支援6者/ポテンシャル量43,000kW (2)アンケート313者、ヒアリング24者/ポテンシャル量228,522kW	23施設	23施設	目標達成済								
	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	①平成30年5月28日設立 ②(1)アンケート355者、ヒアリング12者、事業化支援6者/ポテンシャル量43,000kW (2)アンケート313者、ヒアリング24者/ポテンシャル量228,522kW	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析								
	再生可能エネルギー普及推進事業	0.00人	0.00人	実績	H30年度目標	H30実績	目標達成済								
	期間	H30年度～	16,760千円	0.00人	23施設	23施設	目標達成済								
環境政策課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	市内に水素ステーションを誘致するために平成31年1月28日に水素ステーション用地として土地の貸し出し契約を締結しており、成果目標を達成している。	H30年度に改善した点	有	無		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	0千円	0千円	①水素ステーションの誘致	水素ステーション事業用地に係る土地貸し出し	市内に水素ステーションを誘致するために市有地を水素ステーション用地として民間事業者へ貸し出す。								
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析								
	特になし	0千円	0千円	①平成31年1月28日に土地の貸し出し契約締結	契約締結	契約締結	目標達成済								
	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	①平成31年1月28日に土地の貸し出し契約締結	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析								
	水素ステーション設置促進事業	0.00人	0.00人	実績	H30年度目標	H30実績	目標達成済								
	期間	H30年度～	1,341千円	0.00人	契約締結	契約締結	目標達成済								
環境政策課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	地域における太陽光発電システムの総発電出力は、スマートエネルギー推進補助事業等の効果により、目標値を大幅に達成している。当初目標値を大幅に達成していることから、令和元年度からのマチエコ推進計画において新たな目標値を掲げている。	H30年度に改善した点	有	無		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	111,076千円	110,260千円	①メガソーラー所沢の総発電量(累計) ②公共施設における太陽光発電設備の総発電出力(累計)	地域における太陽光発電システムの総発電出力(kW)	本市に賦存する再生可能エネルギーのうち、最も多く存在する太陽光の利用状況を明らかにすることで、マチエコ構想の進捗状況を把握・評価するものである。当初目標値を大幅に達成していることから、令和元年度からのマチエコ推進計画において新たな目標値を掲げている。								
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析								
	特になし	124,907千円	125,143千円	①6,609MW ②1,090kW	18,800	36,055	H30目標値が未達成の理由・分析								
	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	①6,609MW ②1,090kW	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析								
	マチごとエコタウン推進事業	4.10人	0.00人	実績	H30年度目標	H30実績	目標達成見込み(現在集計中)								
	期間	H26年度～H30年度	34,789千円	0.35人	①6,609MW ②1,090kW	19,200	集計中	目標達成見込み(現在集計中)							
給水管理課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	機器設置工事も完成し、H30年度の目標を上回る発電量が成果として出ているため評価は高いものとされる。	H30年度に改善した点	有	無		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	0千円	0千円	①維持管理を含む包括リース契約	想定年間発電量 約1,400,000kWh/年 (想定年間CO2削減量 約594t/年)	年間発電量が当該事業の目的となっているため指標とする。								
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析								
	水道法、水循環基本計画(水循環基本法)	2,765千円	2,765千円	①平成31年2月より小水力発電設備稼働	0Kwh/年	0Kwh/年	H30目標値が未達成の理由・分析								
	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	①平成31年2月より小水力発電設備稼働	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析								
	小水力発電設備整備事業	1.65人	0.00人	実績	H30年度目標	H30実績	目標達成済								
	期間	H28年度～H50年度	14,149千円	0.00人	①平成31年2月より小水力発電設備稼働	233,333kWh/年	250,780kWh/年	目標達成済							